

青少年体験活動 ボランティア入門セミナー

自然体験活動指導者養成研修 I

【目的】

- ①青少年教育の体験活動を支援するボランティアに求められる知識や技能を習得させ、本所におけるボランティア活動の充実を図る。
- ②「自然体験活動指導者(NEALリーダー)」養成研修との科目履修を互換し、青少年をはじめとする多くの人々の自然体験活動を推進する指導者を養成する。

※NEALとは、全国体験活動指導者認定委員会自然体験活動部会が資格認定する、自然体験活動指導者のこと。

【参加者】 大学生48名、社会人3名

【プログラムの内容】

5月21日(土)

- 10:00 開講式、オリエンテーション
- 10:30 「ボランティア活動の意義」 講師 高田和宜 氏
- 13:30 「ボランティア活動の技術」 講師 本所職員
- 18:30 「青少年教育」 講師 本所次長 今坂雅志
「青少年教育施設に
おけるボランティア活動」

5月22日(日)

- 9:00 「安全管理の基礎的な技術と
応急処置の仕方」 講師 赤十字救急法指導員
- 13:00 「青少年教育の現状と課題」 講師 本所所長 小林真一
- 15:30 「ボランティア登録、ふりかえり」 講師 本所職員
- 16:00 閉講式

ボランティア活動の意義

高田 和宜 氏



ボランティアをする上での心構えや取り組み方を考え、学びました。

ボランティア活動の技



オリエンタリングでポイントごとの課題をクリアし、グループ内の仲を深め、活動技術を身につけました。

青少年教育、青少年教育におけるボランティア活動



「自分はどんな小学生だったか」を書き出し、「その子どもが自分のグループにいたらどのように接するか」を考え、学びました。

安全管理の基礎的な技術と応急処置の仕方

赤十字救急法指導員



脱水症状などの子どもたちが起こしやすい病気やけが、心肺蘇生法を学びました。

ボランティア登録、ふりかえり



登録方法を理解し、2日間で学んだことを整理することで、これからの活動への目標を決めたり個人の課題を考えたりしました。

先輩ボランティアの活躍



2日間、先輩ボランティアが研修をサポートしてくれました。参加者の前に立って堂々と話すなど、素晴らしい見本を見せてくれました。

【参加者の声】 これからのボランティア活動に、もっと挑戦したい。

他の大学の人とも交流していきたい。

【成果】 ・自分が所属する団体以外の人との交流をとおして、ボランティア活動への意欲を高めることができた。
・ボランティア活動をはじめ、様々なことにチャレンジしていくことの大切さを感じてもらうことができた。

【課題】 ・一過性で終わらせないために、様々なボランティアの活動機会を提供していくこと。
・ボランティア活動での悩み等を相談しやすいように、自然の家職員との関係を一層深めていくこと。

【今後の展望】 ボランティアたちが自主的に集まり、刺激し合うことで、活動への意欲を互いに高め合ってもらいたい。